

連合寄付講座に生保労連役員を派遣

大学生に向けて講演



生保労連では、これから社会に出る若い世代を対象に、生保産業や労働組合の役割・働くことの意義などを伝えることを目的として、連合の関連団体である教育文化協会が実施している「連合寄付講座」等へ積極的に講師を派遣しています。

5月31日に京都府の同志社大学で開催した講義では、下記のテーマに沿って生保労連・各組合の取組み等について紹介するほか、生保産業・営業職員の役割や生活設計の重要性を伝えました。



▲講演をする阪本副委員長

開催日	テーマ	講師
2024.5.31 同志社大学	男女がともに働きやすい 職場づくりに向けた取組み	生保労連 中央副執行委員長 阪本 裕美子

学生の感想

- 男女ともに働きやすい職場づくりに向け、生命保険産業が真剣に取り組んでいることが分かった。
- 制度の利用促進のためには、制度利用者の周りの人の理解拡大が重要であると思った。
- 将来への漠然とした不安があり、少しずつ貯金していたが、今後必要となる具体的な資金を確認することができ、不安を解消できた。
- 生命保険について、年間支払総額が19.5兆円もあると初めて知り、そんなに大金なのかと驚いた。
- 社会保障を補完する生命保険の重要さが分かった。